

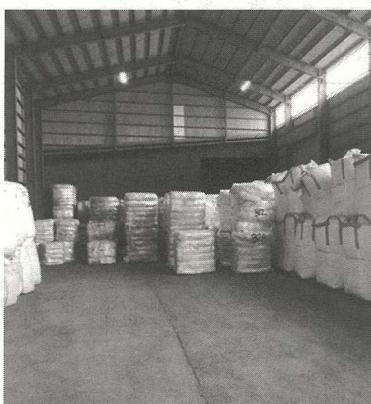
阿部晃久

携帯 :

080-7421-6300

メール :

a-abe@nikki-tsusho.co.jp



八戸倉庫の内部の様子

その③ 入廃を日輝通商の阿部さん 入れブリュッケン、積極買い

7月7日、旭川市の十商カムイの社長田中真樹さんから紹介していただいた日輝通商さんの八戸の倉庫で廃プラの検品をやつてきた。ショックを受けた。こんな会社があつたなんて知らなかつた。担当の阿部さんの連絡先を左に記載しま

もう一つ「カレット」。この間、札幌のイーアンドエムの橋本社長に聞いたら角を取つてまん丸くしたカレットの加工品は引っ張りだこなんだそうです。環境保全サービスさんの「わけーるくん」ならエッジが取れつからでも傷つかない「サンド」ができる。用途はいろいろありますね。太陽光パネルの下に敷くと発電効率が倍近くになるんだそうです。札幌のイーアンドエムさんにもコロナが収まつたら行く予定です。商売のネタなんてその気になればなんぼもあるからね。勉強して丁寧に対応しようね。

した。ジャンジヤン電話して勉強してください。廃プラのことなら何でも相談に乗つてくれるようです。古紙回収をやつておられる方々ね。からは古紙の発生は減る一方です。新しい商品を探さなくてはならない。比較的身近にある商品と言えば「廃プラ」と「カレット」です。どちらも今までリサイクルあるいはSDGsという流れの中で避けて通るわけにはいかない商品になつた。写真で見てもわかるように分ければ塩ビだつて買ってもらえる。どういう荷姿でしてきた。ところがカーボン・コートラルあるいはSDGsという流れの中で避難するわけにはいかない商品になつた。買つてもらえる。どういふ荷姿でどの程度の口戻しだつて付き合つてもうらえるのか、阿部さんから習つてください。